

## 国際大会参加報告書

2012年 12月 6日

社団法人 日本ボディビル連盟  
会長 玉 利 齊 様

報告者 監督 朝 生 照 雄 ㊞

大会名	世界男子クラシックボディビルディング選手権大会				
開催期間	2012年 11月 23日 ~ 11月 26日				
開催場所	国名 ブルガリア		都市名:ソフィア市(首都)		
参加国数	34 カ国		参加選手数	86 名	
役員	役員名	役 職 ・ 他			
	監督	朝 生 照 雄	選手強化委員長		
	通 訳	なし			
選 手	選 手 名	所属連盟	カテゴリー	順位	備 考
	鎌 田 優	東 京	168cm級	4位	11人中
レポート	<p>今年も世界男子クラシックボディビル大会とワールドカップ大会とが一緒に開催され、男女フィットネスオープン、女子ボディフィットネス、男子ボディビルオープン、新競技である男女アスレチックフィットネス(懸垂、バーデップスの正確に出来た回数とローボートマシンで(電光表示パネル使用)の3種目競技)も行われた。</p> <p>クラシックは168cm(11人)、171cm(11人)、175cm(17人)、180cm(27人)、180cm以上(20人)級の5クラスで行われ、日本から一人参加し、昨年に続き2回目出場の鎌田(かまだ)選手が4位に入賞した。</p> <p>鎌田選手は計量では166.4cm、64.9kgでパスし、昨年以上の仕上がりを見せ、優勝も視野に入れ2位以上を目指したが、韓国の2選手が1、2位に入ってしまった。上位4位までは確かに差はあまりないと思われるが、昨年1位のトルコのオスマンと鎌田選手のどちらかが優勝かと思っていたので残念ではあった。</p> <p>また、今回も鎌田選手がドーピングテストに指名された。抽選などで選ばれたのではなく、どのような基準で選ばれ方をしたのかは不明である。参加選手も昨年より13名多く特に180cm以下と以上の2クラスで全体の半分を超えるほど多くなっている。</p> <p>カラーについては昨年のような会場で塗ってはだめということもなく、主な選手はプレジャッジ前日にはプロタンなどで塗っており、当日もドリームタン等を会場で使用していた。ただし、オイルは塗りすぎている場合は役員が拭取るとの説明だった。</p> <p>韓国が168cm級と175cm級で優勝し、団体戦でも1位になっている。今後日本も勝てると思うので、選手2人は派遣できたらと思う。来年はオーストリアで開催です。</p>				

※ 本報告書は帰国後1ヵ月以内に大会結果表を添付して日本連盟事務局に提出して下さい。

※ レポート欄が足りない場合は別紙に記入して添付して下さい。